

下水道使用料改定の 基本的考え方

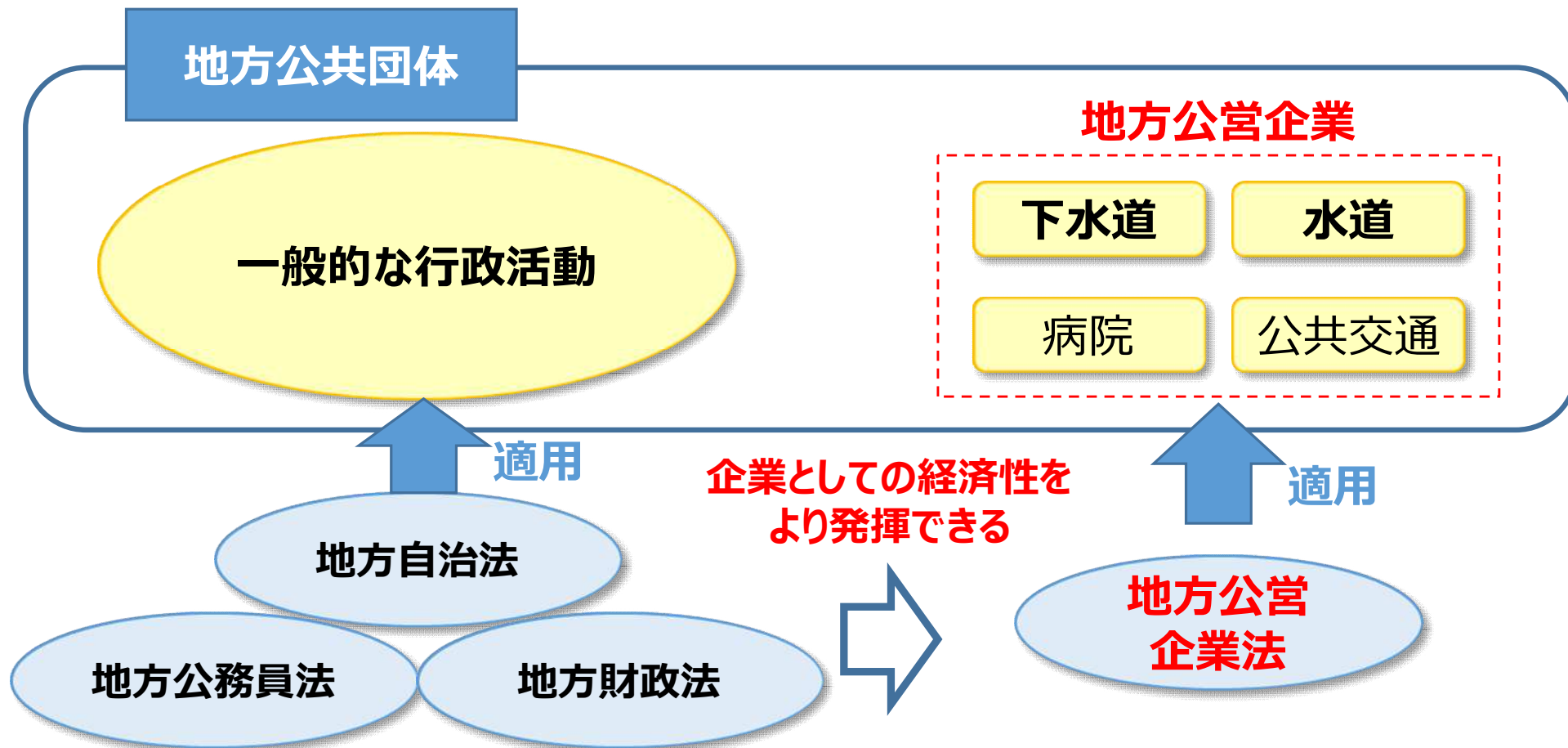
飯能市 上下水道部 下水道課

目 次

- 1 はじめに（前回の振り返り）**
- 2 下水道使用料改定の基本的考え方**

1 はじめに（前回の振り返り）

（1）独立採算独算の原則



1 はじめに（前回の振り返り）

（２）雨水公費・汚水私費の原則

【雨水処理に関する経費】

→公費（税金）

○雨水の排除により浸水から街を守り、機能の保全を発揮することで、受益の範囲が**広く一般市民に及ぶ**。



【汚水処理に関する経費】

→私費（下水道使用料）

○原因者及び下水道使用者を特定でき、受益の範囲は**使用者に直接つながる**。



1 はじめに（前回の振り返り）

（３）下水道使用料の対象経費

○使用料対象経費

（性質別）

【固定費】 水量や使用者数に関係なく、下水道施設の規模に応じて固定的にかかる経費（減価償却費、企業債支払利息、人件費等）	【変動費】 水量に応じて変動する経費（動力費、光熱水費等）	【需要家費】 水量に関係なく、使用者数に比例してかかる経費（徴収関係委託料等）
--	---	---

（目的別）

【資本費】 下水道施設を整備するために必要な費用（減価償却費、企業債支払利息）	【維持管理費】 既存の下水道施設を維持管理していくために必要な費用（修繕費、人件費、動力費、光熱水費等）
---	--

1 はじめに（前回の振り返り）

（５）一般会計繰入金

- 基準内繰入金：総務省の「**繰出基準**」において、公費(税金)で負担することが認められている経費に充当するための繰入金
- 基準外繰入金：「**繰出基準**」に該当しない一般会計からの繰入金

【基準内繰入金】

- ・雨水処理に要する経費
- ・公費負担が認められる企業債の償還元金
- ・下水の規制に関する事務に要する経費
- ・分流式下水道等に要する経費

【基準外繰入金】

- ・企業債の償還等の資金不足を補填するため、自治体の判断で公費負担する経費
- ・災害の復旧その他特別の理由により必要がある場合に、自治体の判断で公費負担する経費

1 はじめに（前回の振り返り）

（４）下水道使用料の改定の目標

短期目標

収支構造の改善

経費回収率100%以上

↓
適正な収支構造

中期目標

基準外繰入の削減

雨水公費・汚水私費の原則
(R5基準外 3.3億円)

↓
独立採算の原則
雨水公費・汚水私費の原則

長期目標

内部留保金の確保

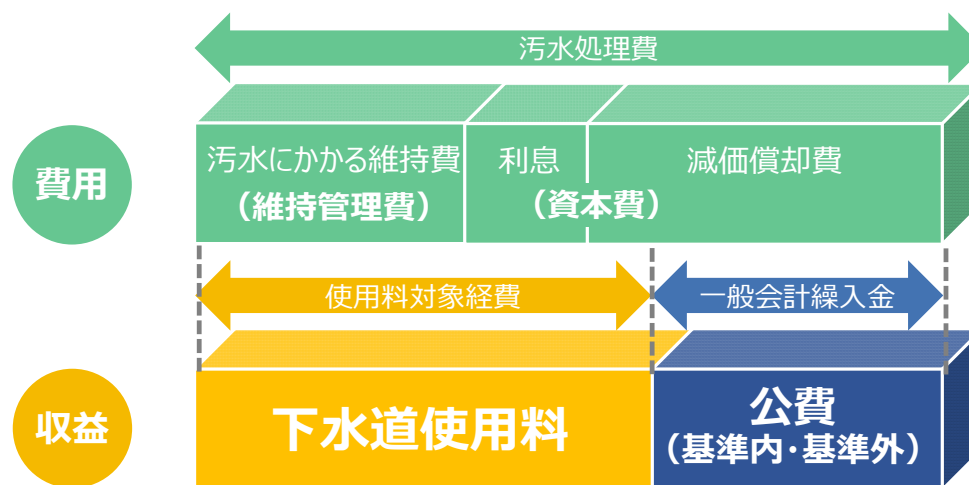
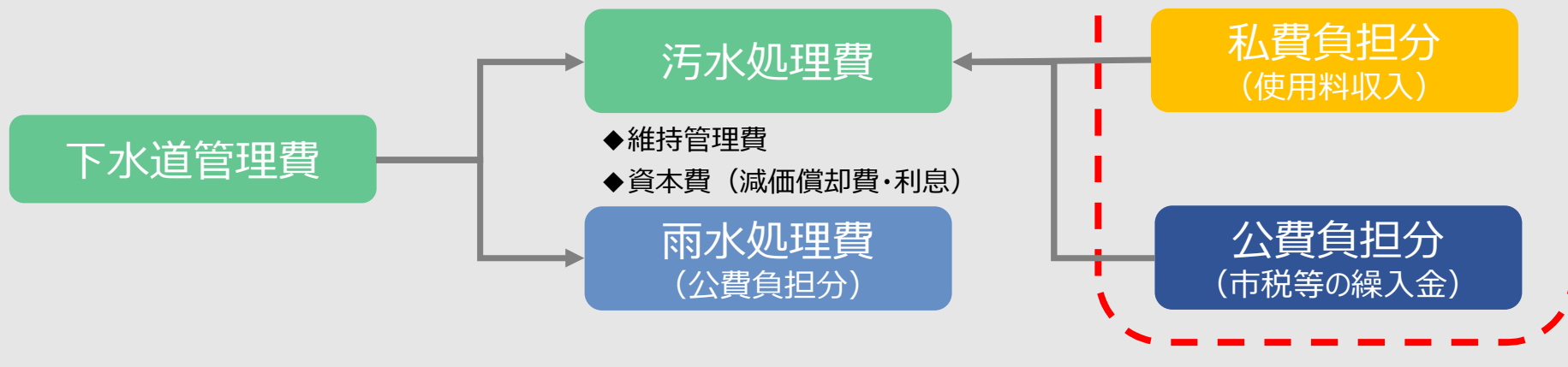
当面4億円

目標10億円

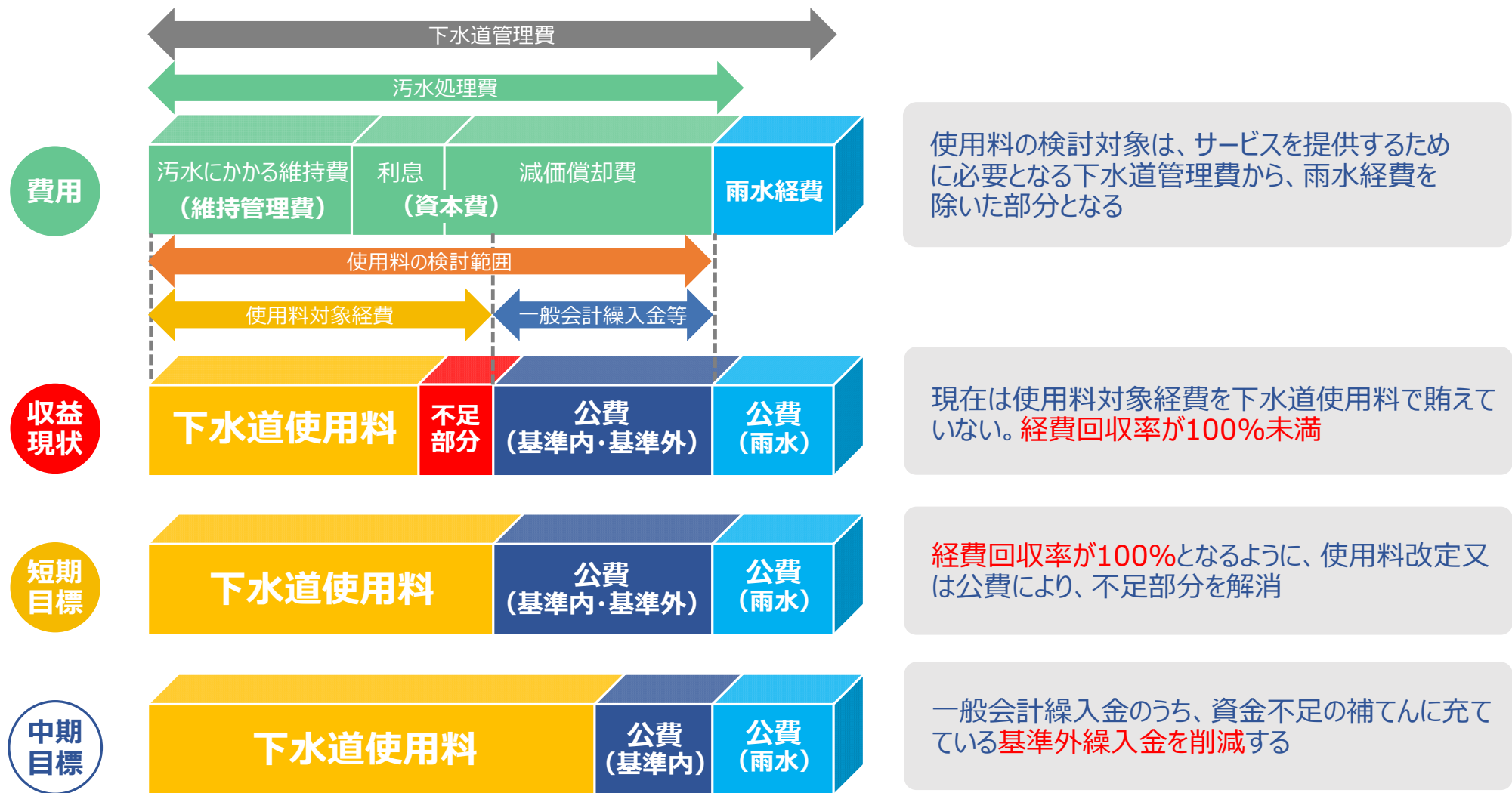
↓
安定的な経営基盤の確立

2 下水道使用料改定の基本的考え方

下水道にかかる費用の構成（維持管理費・資本費）

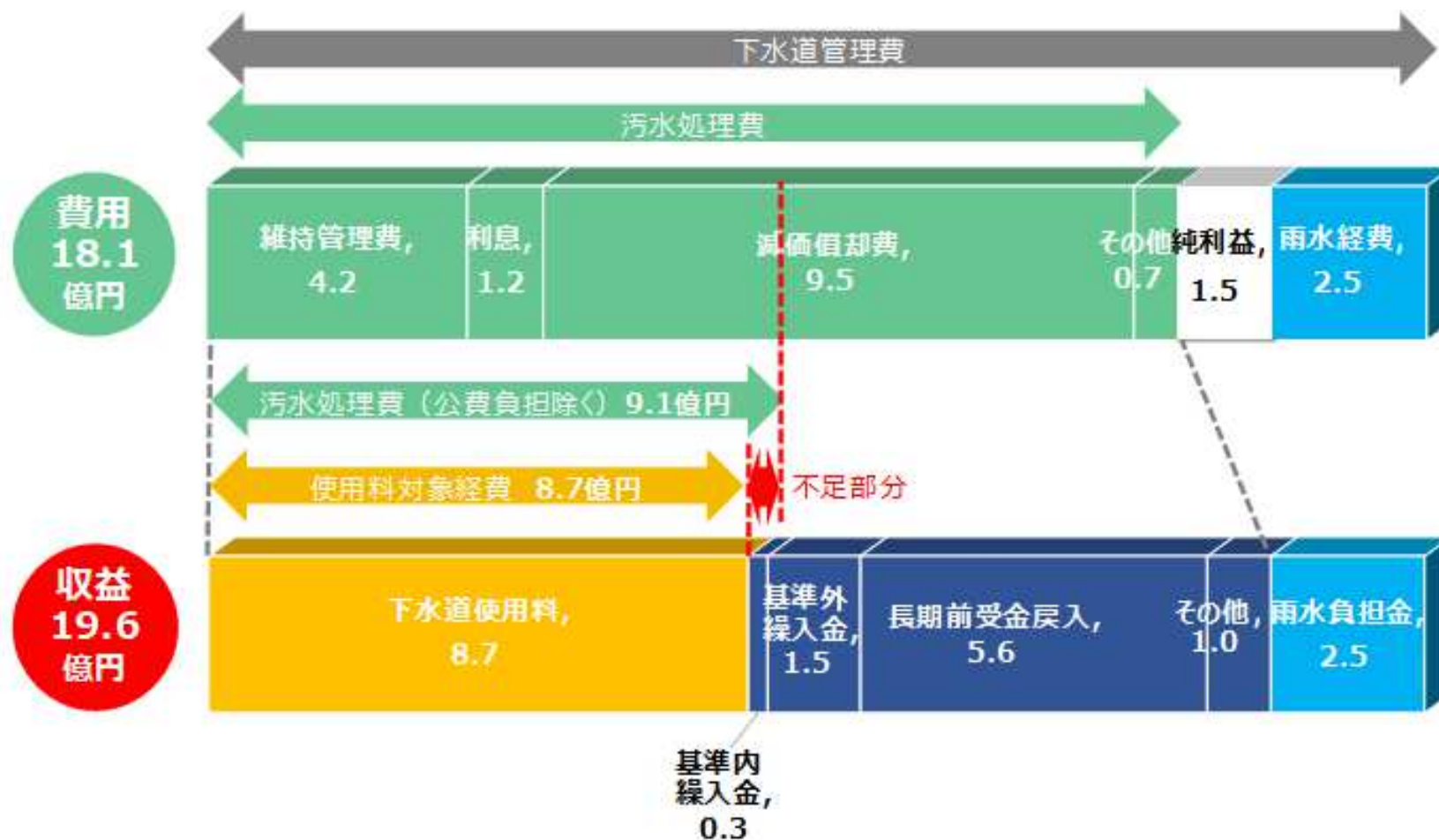


2 下水道使用料改定の基本的考え方



2 下水道使用料改定の基本的考え方

令和5年度決算（速報値）では



2 下水道使用料改定の基本的考え方

令和5年度決算（速報値）では

